

## 2023年度

### 富士吉田市立病院保育所にじいろ 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月16日（火）～2月6日（火）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月27日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を大切に、子ども一人ひとりの発達段階を職員間で共有・話し合い、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い汲み取り保育をした。主体性を大切にした保育を行うために環境設定の見直しにも取り組んでいる。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達状況をよく観察し、無理なく子どもの発達に合った計画を立て、子どもの気持ちを大切に柔軟な保育をした。今後も子どもの発達や実状に沿った保育をしていきたい。
保護者に対する支援	送迎時、園での様子を部屋の入口に毎日写真を掲示し子どもの成長を共に喜び合えるよう意識した。
保育を支える組織的基盤	園内研修や社内研修に参加し学んだ内容を保育の中に実践として活かし更なる質の向上を目指したい。

総評
<p>保育理念に向かって、子どもの主体性とはどういうことか考え、保育計画を立て取り組むことが出来た。子どもの成長をみんなで共感し、感動の多い1年となった。</p> <p>今年度は食育活動も様々な内容を取り入れて行ったことで、食に対し興味・関心が深まった様子が見られた。次年度も引き続き、何事も「おもいっきり」取り組めるよう環境を整え、楽しく・安心・安全に生活ができるようにしていきたい。</p>